

県内百貨店・主要小売店9月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	▲14.2		0.8
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	7.9	6.4	1.8
Vドラッグ	6.6	5.5	2.4
ホームセンターバロー	▲0.1	▲3.0	▲4.2
セリア	2.8	▲0.9	1.0
ヒマラヤ	2.7	4.5	2.0

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など3社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計

県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の9月上高実績（速報値、小売店は全店売上高）は、6社のうち4社が前年同月を上回った。バローは猛暑が続いた影響で飲料やアイスが好調。新型コロナウイルスの5類移行で需要が高まり、すしなどデリカ部門も堅調だ。店内調理のパンは価格を据え置いており、他社との競争で優位に立つ。Vドラッグは食品がスパーやコンビニよりも価格



百貨店小売店 9月の売上高 4社が前年を上回る

に優位性があり、客数も伸びている。ホームセンターは好天に恵まれ、園芸用品が好調だった。一方、物価高の影響で家具や家電など耐久消費財は不振が続く。セリアはネイルや旅行グッズ、推し活グッズが引き続き好調を維持。他社よりもアイテム数が充実する日用消耗品が上位品目に入った。来年7月末での閉店を発表した岐阜高島屋は客数は堅調だが、売上高は5月から前年割れが続いている。8月期決算のヒマラヤは売上高、客数とも前年同月超えて順調な滑り出しとなった。